

神戸市会議員



岡田ゆうじ

市会議員団市政報告

真剣勝負！神戸再生宣言！

- 【岡田ゆうじプロフィール】 ●1978年6月25日生まれ
- 慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
  - 国会議員政策担当秘書資格試験に合格 ●参議院議員末松信介政策担当秘書
  - 2017年10月神戸市会議員補欠選挙にて27,279票を得て初当選



# 2019.4 No.15 渋滞のまち垂水

私達の垂水区は、よく「坂のまち」「海辺のまち」などと言われますが、何よりも「渋滞のまち」でもあります。前者は自然の地形によるものですが、後者は政策の失敗によるものです。特に高丸インターは、垂水区の生活において最も重要な、垂水区の「心臓」部分である非常に重要な箇所でありながら、常に深刻な渋滞状態となっており、パトカーや救急車ですら迂回せざるを得ない状況です。

平成31年度予算が掲げる「市民の生命と財産を守るインフラ」実現のため、私は議会で何度も何度もしつこく、この箇所の拡幅工事を要望して参りました。当局もついに根負けし、平成31年度予算で、高丸インターの東側に当たる、NEXCOの土地を用地買収し、一部2車線になる拡幅工事が行なわれることが決まりました。今年の夏頃から、工事に着手します。

ここ10年ぐらい進捗がなかった念願の拡幅工事に、平成31年度予算で手がつけられたという事は、歴史的な前進であると自負しております。

しかし、これは根本的な工事ではありません。2期目の工事として西側にも拡幅し、完全2車線化しないことには、渋滞の抜本的な解消には至りません。

引き続き当局と連携取りながら、垂水区民の生活にとって最も重要な本件について、しっかりと取り組んで参ります。



拡幅工事の予定図（赤字部分）  
垂水区にとって欠かさざる重要工事  
予算をしっかりと獲得できました

## 高丸インター・商大筋の渋滞問題について



高丸インターは、非常に特殊な形をしている。垂水区の生活において最も重要な、垂水区の「心臓」部分であるのみならず、神戸市西部地域の主要結節地点として、神戸の中心部と明石以西を結ぶ非常に重要な箇所である。しかしこの地点の渋滞のせいで、パトカーや救急車も垂水に行くにも迂回せざるを得ない。

さらに、新たに小児科救急機能を備えた総合病院が商大筋にできるため、1日も早く渋滞が解消されなければ、予算説明書の冒頭で挙げていただいた「市民の生命と財産を守るインフラ」は実現できない。平成31年度予算では、高丸インターの東側に当たる、NEXC Oの土地を用地買収し、2車線にするということだが、1車線のままの所がある。全て2車線にするため、西側の用地買収も含め、検討すべきである。現状について、伺いたい。

岡田委員ご指摘のとおり、高丸インター周辺の渋滞については、特に朝夕のラッシュ時に渋滞していることは認識している。

来年度は東側に拡幅し、北行きの車線をできるだけ2車線化するよう事業を進めていく予定である。元々は西側に拡幅した方が線形としては良かったが、当時用地交渉が難航したため、現在は、東側を拡幅することで、星陵台中学校前から高丸インターの間の80mのうち、7割程度を2車線化し、一定の効果があると考えている。現在の予定としては、平成31年夏ごろまでに用地買収を完了し、速やかに工事に着手していきたい。

また、残りの区間の北行き2車線を完結するには、西側の用地買収を行い、拡幅する必要があるが、これは第2期工事と考えている。現計画の東側の拡幅により北行き2車線化が一定完了するため、交通状況を把握した上で実施していきたいと考えているが、西側の用地交渉についても引き続き進めていきたい。



前回2月13日の常任委員会でも私は同様の提案をしたが、その時は当局は一体何を考えているのか、不安になる答弁であった。しかし今日の局長の適格な答弁で、だいぶ理解が深まったのではないかなと思う。「第2期」という言葉を使っていた。また今回、根本的ではないとはいえ、念願の拡幅を実施してもらえるとということで、10年ぐらい進捗がなかったところを平成31年度予算で手がつけられたという事は、歴史的に大変すばらしいことだと思っている。

しかし、これは根本的ではないため、これを1期工事として、2期目の工事が必要であり、1期で終わるわけにはいかない。

改良を行わなければ、垂水区民はなかなか垂水駅に行けない。垂水区民にとって致命的な箇所であるため、今、当局が徐々に問題を認識して、取り組んでいる姿勢を示していただいたことを大変有難く思う。今後できることは何かを考えながら、着実に進めていただきたい。



「垂水区で長生きして良かった」と思える街にしたい

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂3丁目18-20  
TEL: 090-9107-0622 / FAX: 078-785-5172

岡田ゆうじ  
ホームページ  
www.okadayu.ji.net  
mail@okadayu.ji.net

